

環境保全施設整備計画 【令和6年度～令和7年度】

やまなしけん
山梨県

令和5年12月
変更 令和6年11月

環境保全施設整備計画の目標等

都道府県名	山梨県	個別地域	南アルプス国立公園（山梨・長野地域）
計画期間	令和6年度～令和7年度		

目標
大目標：南アルプス国立公園における自然とのふれあいの推進、自然環境・動植物の保全・再生を図る。 ・南アルプスの自然とふれあい、魅力である「高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性（南アルプスユネスコエコパーク理念）」を満喫できるような自然環境整備を行う。 ・自然環境・動植物の保全・再生を図りつつ、利用者の安全確保のために変状が見られる橋梁を長寿命化計画のもと整備を行う。

目標設定の根拠
個別地域の現状
・南アルプス国立公園は昭和39年6月1日に指定され、本県、長野、静岡の3県にまたがるおよそ4万haの面積を占め、日本第2の標高を誇る北岳をはじめ3000m級の高峰を十座以上有する日本で有数の山岳公園である。 ・南アルプスは、日本アルプスの中で最も南に位置し、夏に雨が多く、冬の雪が少ないことが特徴である。地形は大量の雨が引き起こす河川浸食作用によって、深く切れ込んだV字谷が多数多く見られ、植生は積雪量が少ないことから、森林限界の標高が高く、稜線付近まで森におおわれていることが特徴である。 また、日本で氷河が存在した最も南の場所であり、キタダケソウやチョウノスケソウなど、氷河とともに南下してきた植物の生育地の南限であるとともに、ライチョウ等の貴重な野生生物の生息地にもなっている。 ・南アルプス国立公園を核とする地域において、平成20年12月に「南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク」に認定され、平成26年6月に「ユネスコエコパーク」に登録されている。 ・南アルプスの自然環境と動植物の保全・再生を図るため、山梨県側の広河原までの区間においてマイカー規制が導入されている。
課題
・北岳への登山ルートの入口に位置する広河原橋と大樺沢吊橋は変状の進行が確認されていることから、利用者の安全確保のために補修が必要である。

長寿命化対策の整備方針と期待する効果	方針に沿った主要な事業	長寿命化計画名（策定年度又は策定予定年度）
・変状が進行した橋梁（広河原橋、大樺沢吊橋）について長寿命化計画に基づき、予防保全管理（補修）を行う。 補修により利用者の安全性を確保する。 ※広河原橋については、先行して前整備計画（R元～R5）で測量設計を実施済み。	橋梁長寿命化計画策定業務	橋梁長寿命化計画（平成30年度策定）

目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
							目標年度	
広河原橋の利用者数	人	広河原橋を整備することにより、利用者が増加する。	現地調査	安全性かつ利便性を確保することより、利用者からの評判により、さらに登山者が増える。	31,900人	令和4年度	40,000人	令和8年度
大樺沢吊橋の利用者数	人	大樺沢吊橋を整備することにより、利用者が増加する。	現地調査	安全性かつ利便性を確保することより、利用者からの評判により、さらに登山者が増える。	462人	令和4年度	500人	令和8年度
施設補修箇所	橋	健全度判定においてC、Dをなくす。	定期点検	自然公園施設における快適な利用を促す施設の機能低下箇所を解消することを目指す。	2橋	令和4年度	0橋	令和8年度

その他必要な事項
山梨県が適正に維持管理を実施。

環境保全施設整備交付対象事業等一覧表(1) (金額の単位は千円)

継続

交付対象事業費		89,716		交付限度額		44,858									
番号	公園名等	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体 事業費	(参考)全体事業期間		交付対象 事業費	(参考)うち 都道府県費	(参考)うち 市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度				1年目(R6年度)	2年目(R7年度)	3年目(R8年度)	4年目(R9年度)	5年目(R10年度)
1	南アルプス国立公園	白根山系縦走線道路(歩道)事業	ミナモト 南アルプス市	山梨県	51,645	R5	R6	51,645	25,823	0	51,645	0			
2	南アルプス国立公園	広河原園地事業	ミナモト 南アルプス市	山梨県	38,071	R6	R7	38,071	19,036	0	9,350	28,721			
合計					89,716			89,716	44,858	0	60,995	28,721	0	0	0

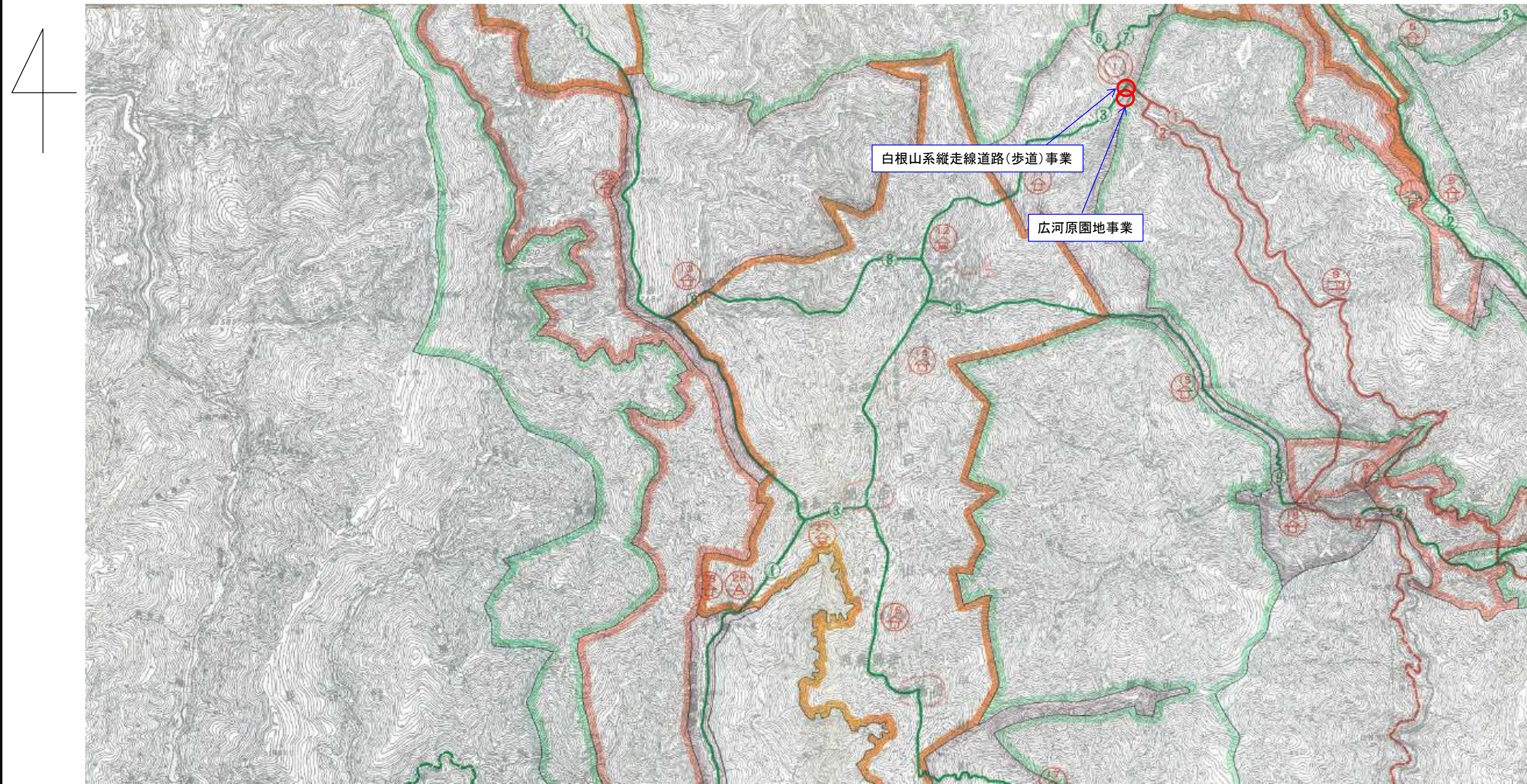
環境保全施設整備交付対象事業等一覧表(2)

[illegible]

(参考)環境保全施設整備計画(山梨県)の概要図

個別地域	南アルプス国立公園(山梨・長野地域)	所在地	みなみあるぶすし 南アルプス市
------	--------------------	-----	--------------------

※ 個別地域の図面を添付すること。



別添 1

事前評価用チェックシート(参考例) (環境保全施設整備計画)

都道府県名	山梨県	計画期間	令和 6 年度～令和 7 年度
個別地域名	南アルプス国立公園(山梨・長野地域)	評価年度	令和 8 年度
1 事業の必要性			チェック欄
★ (1)	事業区域の自然環境、施設整備の現状及び利用の動向等から、長寿命化に資する事業を実施する必要が認められる。	○	
★ (2)	上位計画との整合性が確保されている。	○	
★ (3)	同じ国立公園の直轄事業との整合性が確保されている。	○	
★ (4)	環境保全施設整備交付金取扱要領の 1 に定める交付対象事業等で事業ある。	○	
2 事業の有効性			チェック欄
★ (1)	既存施設の長寿命化に資する整備でその効果が見込める。	○	
★ (2)	個別施設計画を策定する必要がある施設である。	○	
★ (3)	単年度当たりのライフサイクルコストの縮減が見込める。	○	
(4)	施設に劣化が認められる。	○	
3 目標と指標の妥当性・実現可能性			チェック欄
★ (1) 目標と指標の妥当性			
	① 目標に対応した適切な指標が設定されている。	○	
	② 指標及び数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○	
(2) 経済性			
	コストの削減に努めるなど経済性に配慮している。	○	
(3) 自然環境等への配慮			
	自然環境や地球環境に対し、以下のような配慮をした事業である。 ・ 整備による風景への影響を最小限とするよう配慮 ・ 省エネの推進や再生エネルギーの活用 ・ 地域材等の天然材料等、生態系に配慮した資材の利用 ・ 外来種の持ち込み対策等に対する施工上の配慮 ・ 木材を利用する場合に間伐材を使用 ・ 廃棄物が発生する場合にリサイクル等を推進	○	
★ (4) 実現可能性			
	① 関係機関や地域との合意が形成されている。	○	
	② 整備完了後適切に維持管理が実施される予定である。	○	
	③ 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○	

注：★は必須項目